

若者の視点

尚絅大学生によるレポート 24

オンライン傍聴



令和3年第3回大津町議会定例会をオンライン傍聴し、その後教室で3つの班に分かれてグループディスカッションを行いました。

〈全体の感想〉

・様々なジャンルの質問に対して明確な答えを出していた。
・通告内容は他の地域の行政を参考にしていたり直接かわっていている人の声を取り入れたり説得力があった。

A班

坂本(文責)
池田・井口・大津・左藤・鍋田・松本

・多くの意見を議会に反映させるために町民の意見に耳を傾けて取り組まれている姿に胸を打たれた。

〈私たちの声〉

・障がい者が健常者と同じ日常生活を送るためには多くの民間企業や地域の団体の参加が必要不可欠ではないか。そのためにも、市町村からの助成と民間への働きかけが必要。
・ワクチン接種会場について熊本にも多数施設があるため、東京と同じような取り組みができないのかと疑問に思った。
・質問するときの前置きが長いと思った。

B班

正岡(文責)
石江・印丸・佐土原・高田・西

〈全体の感想〉

・オンラインでの傍聴は聞き取りづらかったため、次は実際に現場で傍聴してみたい。
・やりとりが速く、情報量が多い。
・質問のジャンルが幅広く、様々な課題に言及していた。
・参考資料を提示し、他の市区町村の状況にも言及し比較がなされていた。

〈印象に残った質問〉

・以前の議会から持ち越され、繰り返し行われる質問もあった。それだけ「町の為にこの問題を解決したい」という議員の方々の熱意を感じた。

〈印象に残った質問〉

・既に熊本市には七か所に設置してあるということを知らない町民も多いのではないか。
・「二酸化炭素排出削減につながること」「町の豊かな水資源のPRになること」などのたくさんさんのメリットを大々的に公表することで町民の方々も積極的に応援するのではないか。



〈印象に残った質問〉

「新型コロナウイルスワクチン接種を着実かつ迅速に進めるための取り組みについて」
2回目の接種を完了した人の特典として商品券を配布する。

〈感想〉

・ワクチン接種の促進だけでなく地域や経済の活性化に繋がるため、町のことを様々な角度で見ているのだと感じた。

〈印象に残った質問〉

「大津町の生活保護捕捉率を含めた生活保護状況について」
令和3年度の時点で、182世帯が受給している。そのうち101件が高齢者世帯。

〈感想〉

・高齢者世帯が多い背景には、年金の少なさも関係しているのではないかと考えた。

